

「米づくりに自分が見えるものは、太陽と土と水だけ」

幾多の困難を乗り越え、完全無肥料・無農薬栽培を追求する北村広紀



厳しい基準と管理を徹底



販路拡大のため商談会にも参加



共感を得て、取扱店・売場も増加中

「自然栽培園 北村」代表、北村広紀は、幾多の失敗と挫折に直面しながらも、食の安全と環境保全を願いながら30年をかけ「完全無肥料・無農薬栽培」の米を完成させました。そこには、多くの人から無謀だと笑われ、ときには怒られても、その栽培方法を追求し続け、決してあきらめなかった理由、そして今後目指す夢があります。自然農法の持つ意味と重要性を世の中に広めたいと思っています。

〈リリースのポイント〉

- ①1983年、脱サラしてナス栽培をスタート。大量の農薬と肥料と使用し、収穫量を上げる一方、それらに依存する栽培方法に強い疑問を感じ、未来に対する食の安全・環境保全への意識が高まる。
- ②有機肥料さえ一切使用しない「自然農法＝完全無肥料・無農薬栽培」に魅せられ、自身のもつ全ての水田（約5,000坪）を自然農法へ切り替えるものの、雑草が生い茂り、大失敗。周囲に笑われ、大幅な減収となりながらも解決の糸口を求めて熊本県へ。2年の試行錯誤の結果、農薬を使用せず雑草を克服。
- ③雑草問題から一転、次は害虫の被害に。それでも決して農薬に頼らず、水のみで害虫を減らすことに成功。水への恩恵を感じ、一人で始めたクリークのごみ拾いは、今でも賛同者10～20人とともに活動中。
- ④2014年、30年の年月をかけ、完全無肥料・無農薬栽培による大粒の自然米が誕生。翌年より自らの足で県内外への飛び込み営業を積極的に展開。共感を得たスーパーや自然食品店等での販売が始まり、取扱店・売場は年々増加中。有田焼創業400年を記念した陶磁器とのコラボ商品も発売中。
- ⑤今後の目標は、自身が蓄積してきたノウハウを伝えることで、自然農法を実行する後継者を育てること。誰もが近くの店舗で「完全無肥料・無農薬栽培農産物」が購入できるような生産・販売網の確立を願う。

リリースに関しての
お問い合わせ先

〈会社名〉 自然栽培園 北村 〈代表者名〉 北村広紀

〈住 所〉 〒840-2214 佐賀県佐賀市川副町大字小々森1197-6

〈電 話〉 0952-65-5300

〈E-mail〉 mutugorou@s9.dion.ne.jp

〈F A X〉 0952-45-5278

〈WEBサイト〉 <http://kaminokome.com>